

成功するベンチャー企業は ここが違う

2022年9月15日

イノベーション・エンジン株式会社

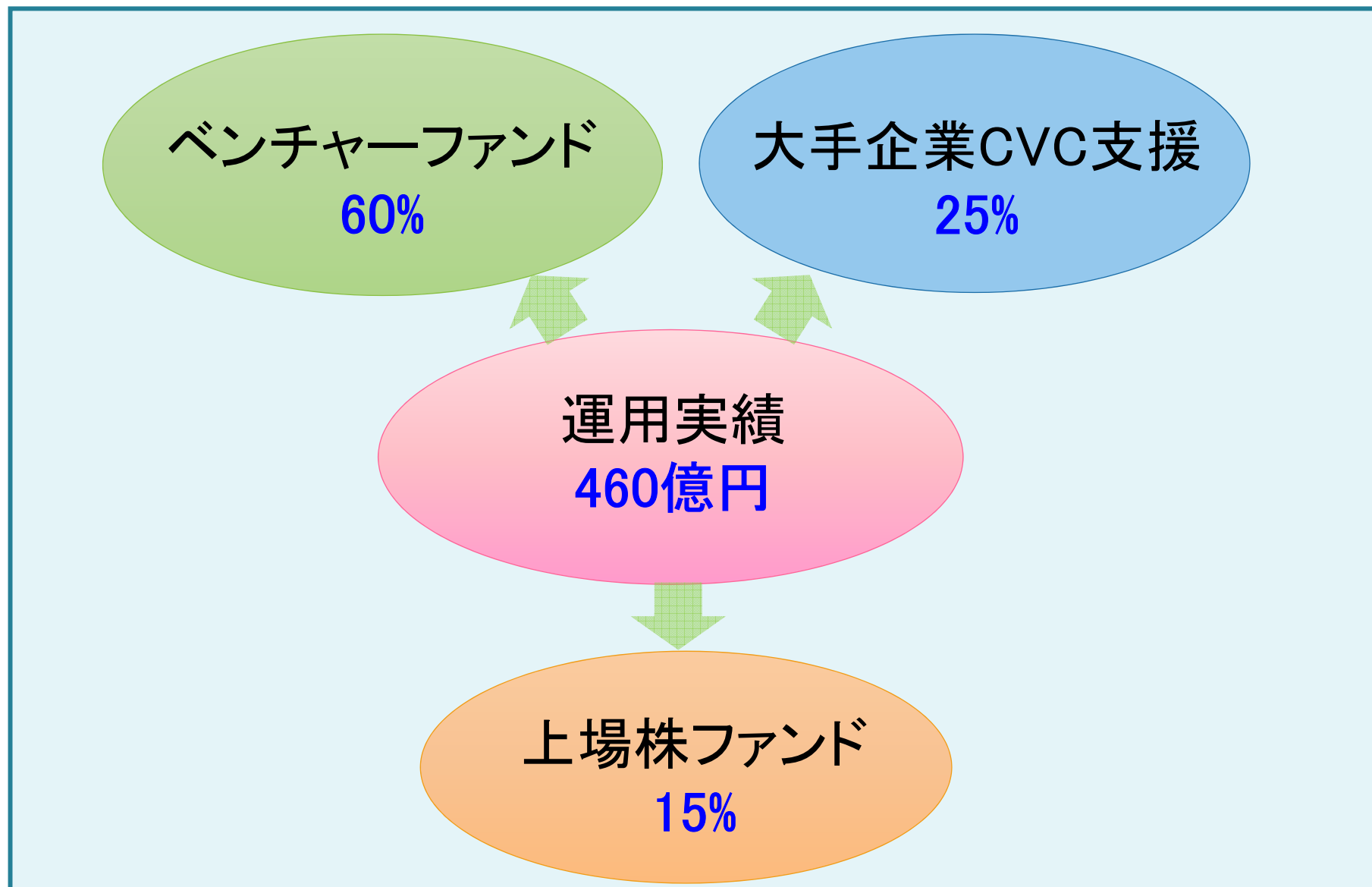
代表取締役社長 佐野 睦典

イノベーション・エンジン株式会社



- 設立 : 2001年1月31日
- 目的 : 産業ニューフロンティア創出のエンジンとなる
- 代表取締役 : 佐野睦典
- 事業内容
 - 未上場会社に加え新興上場企業への投資
 - 大企業のCVC支援
 - これまでの運用実績は約460億円
- 所在地 : 東京都港区芝2-3-12
- URL : <http://www.innovation-engine.co.jp/>

ファンド等運用状況



■ ファンド等への主な出資企業



● IEファンドへの出資企業

(大企業)

- みずほ銀行
- 新生銀行
- クレディセゾン
- あいおいニッセイ同和損保
- リコー
- 大日本印刷
- 信越化学工業
- 世界トップ級半導体メーカーなど

(オーナー系企業)

- ベルーナ
- デジタルハーツグループ
- トレジャーファクトリー
- イーレックス
- 日特エンジニアリング
- インソース
- イノベーション
- IRジャパン
- ビジョン など

● 大手企業 C V C 支援/投資顧問

• 加賀電子(株)

開始年月日 2017年5月
契約額 50億円

• 西松建設(株)

開始年月日 2020年1月
契約額 30億円

• 東証一部上場リース会社 (上場株投資)

開始年月日 2020年7月
契約額 50億円

• 安川電機(株)

開始年月日 2021年1月

• (株)ADワークスグループ

開始年月日 2021年4月
契約額 20億円

• 中国電力(株)

開始年月日 2022年3月

卓越した投資パフォーマンス

投資勝率70%以上を誇る



- ・大震災(2011年3月)後の7.5年間に25社へ投資(5,000万円以上の分)
- ・すでに、IPOなど株価を上げてExitを16社実現。更に2社のIPOが近い。
- ・今後のIPO含め、勝率70%以上を誇る

No.	社名	業種	出資年月	IPOor回収年月	回収倍率	回収方法
1	(株)キャピタル・アセット・プランニング	金融情報処理	2011/ 8	2016/10	5.2倍	IPO
2	Delta-Fly Pharma(株)	モジュラー創薬	2011/12	2018/10	5.9倍	IPO
3	エンカレッジ・テクノロジー(株)	セキュリティ	2012/ 5	2013/12	8.4倍	IPO
4	(株)アイネットサポート	コールセンター	2012/ 7	2016/ 7	1.2倍	トレードセール
5	(株)メドレックス	ドラッグデリバリー	2012/ 8	2013/ 2	3.2倍	IPO
6	SCIVAX(株)	超精密製造装置	2012/11	2016/ 9	1.3倍	トレードセール
7	(株)リボミック	遺伝子創薬	2012/11	2014/ 9	12.1倍	IPO
8	(株)アルフレッドコア	動画配信システム	2012/12	2014/11	0.1倍	会社清算
9	ヴィスコ・テクノロジーズ(株)	電子備品検査装置	2012/12	2017/12	11.8倍	IPO
10	(株)ミュートス	医療情報処理	2013/ 1	2017/ 6	1.1倍	トレードセール
11	オンコリスバイオフーマ(株)	ガン創薬	2013/ 7	2013/12	1.1倍	IPO

No.	社名	業種	出資年月	IPOor回収年月	回収倍率	回収方法
12	イーレックス(株)	新電力	2013/12	2014/12	1.9倍	IPO
13	ブライトパス・バイオ(株)	免疫医療	2014/ 7	2015/10	11.4倍	IPO
14	北京視信源	CMOSセンサー	2015/ 4	2015/ 8	5.7倍	IPO
15	パスイメージング	遠隔病理診断	2016/ 8	—	—	トレードセール
16	ORTHOREBIRTH	綿状の人工骨	2016/ 9	2023/3(予)	—	IPO
17	Tranzax	フィンテック	2017/6	—	—	トレードセール
18	CROCO	クラウドソーシング	2017/8	2023/12(予)	—	IPO
19	PicoCELA	多段式無線LAN	2017/9	2023/ 9(予)	—	IPO
20	ママスクエア	ニアショアBPO	2017/9	2024/ 3(予)	—	IPO
21	BONX	ヒアラブルデバイス	2017/11	2023/10(予)	—	IPO
22	AI CROSS	SMSサービス	2017/12	2019/10	2.7倍	IPO
23	ペルセウスプロテオミクス	抗体創薬	2018/3	2021/ 6	1.4倍	IPO
24	KIYOラーニング	ネットラーニング	2018/5	2020/ 7	7.3倍	IPO
25	tripla	ホテル向けチケットポット	2018/6	2022/11(予)	—	IPO

注) ■ IPOを実現 ■ IPOに近い ■ 株価を上げて売却 ■ 株価を下げて売却 ■ 保有中
2011年8月～2018年8月の投資分。
5,000万円以上の投資金額あるいはExit金額の投資分

成功投資体験豊かなキャピタリスト

◇合計200年の投資経験と合計80社のIPOを実現

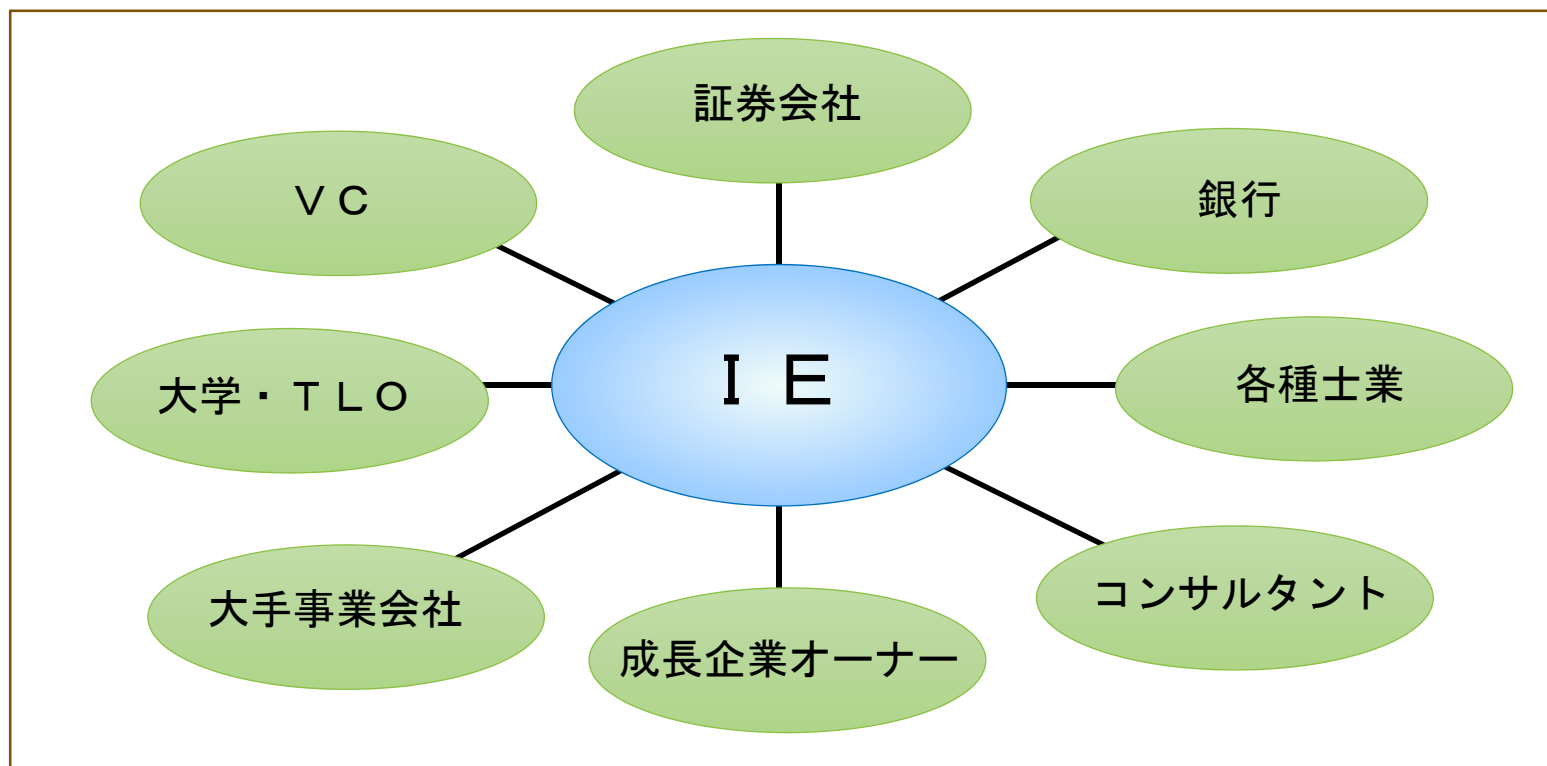
◇各人を合わせると、これまで10,000社を超える投資案件に関わってきている

キャピタリスト	得意分野	事業・コンサル経験	投資経験	IPO社数
佐野 睦典	投資全般	14年	31年	10社
松本 尚	ヘルスケア・医薬	0年	22年	18社
太田 一彦	技術評価	7年	24年	1社
千葉 寧	IOT・通信・エデュテック	8年	20年	12社
雨宮 秀仁	ネットビジネス・X-テック	16年	11年	6社
森田 和彦	ディープテック・ヘルスケア	25年	12年	1社
清常 浩介	製造業・リアルDX・フィンテック	18年	5年	2社
新庄 義和	製造業・ロボット・環境エネルギー	8年	23年	6社
小松 伸多佳	宇宙・ロボット・人材	13年	18年	9社
金野 諭	IT・製造業・知的財産	12年	15年	10社
坂口 岳洋	建設業・食品・農林水産業・人材	16年	8年	1社
石井 浩之	中国	9年	11年	5社
		146年	200年	80社

豊かなディールソースと数多い新規案件

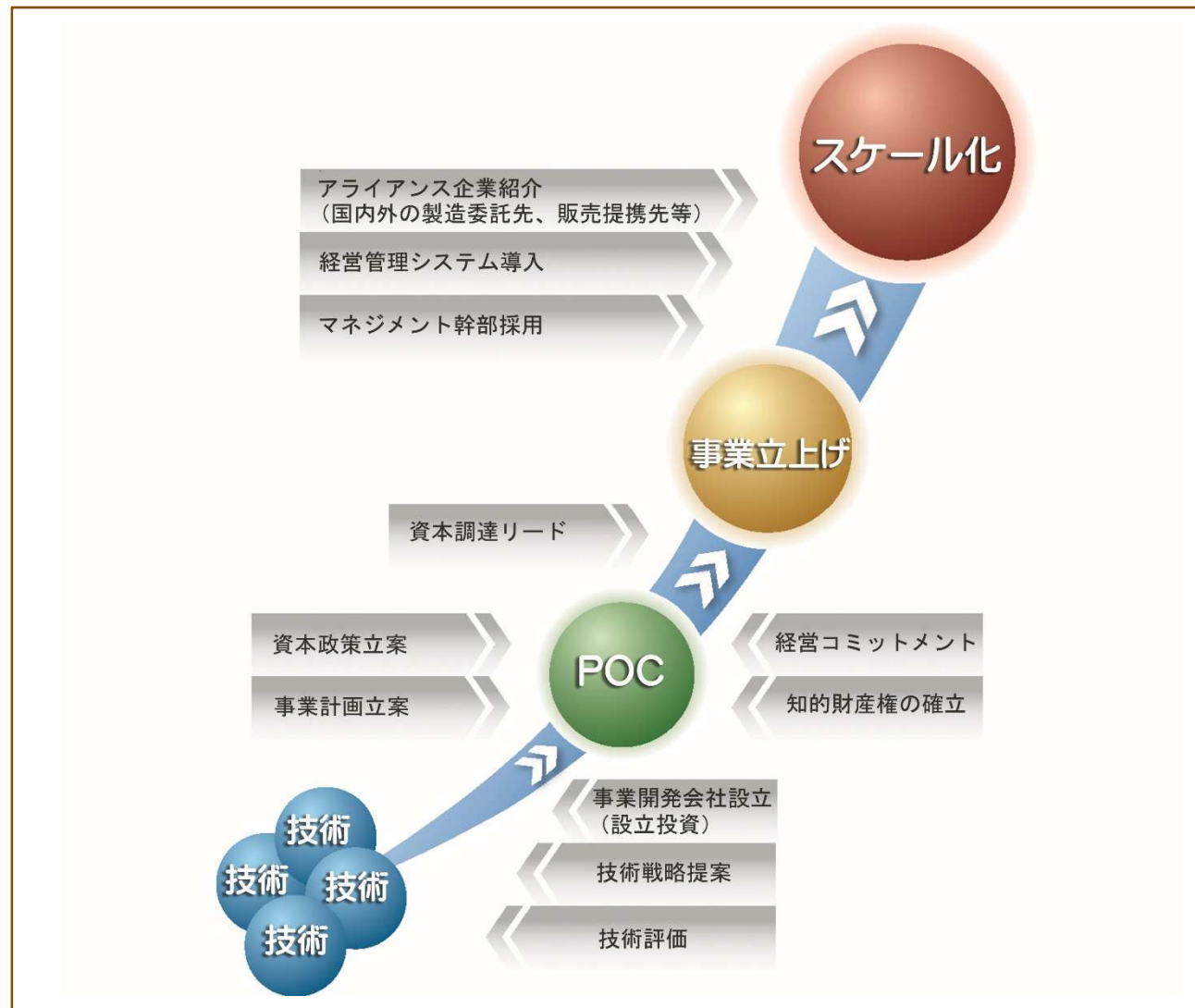
◇ベンチャー企業との関係が深い生態系ネットワークを
産業界、金融界、学界、各種士業などに幅広く形成。

◇年間500～600社の新規投資案件を受入れ。毎年増大中。



リードインベスターとなり成長力を引出す

◇成長段階に応じ人材・事業・資金などの不足資源を提供

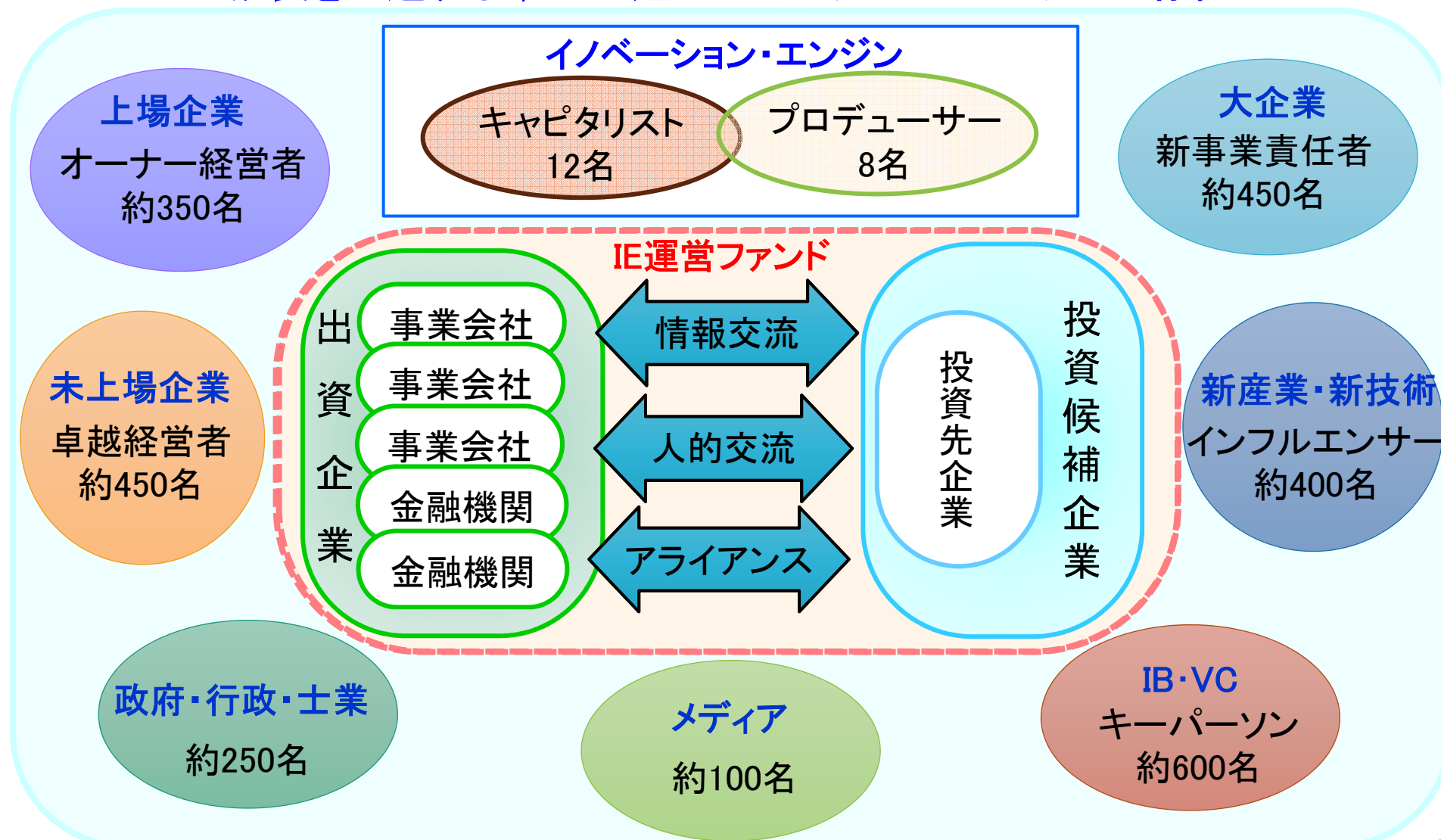


IEの強味4

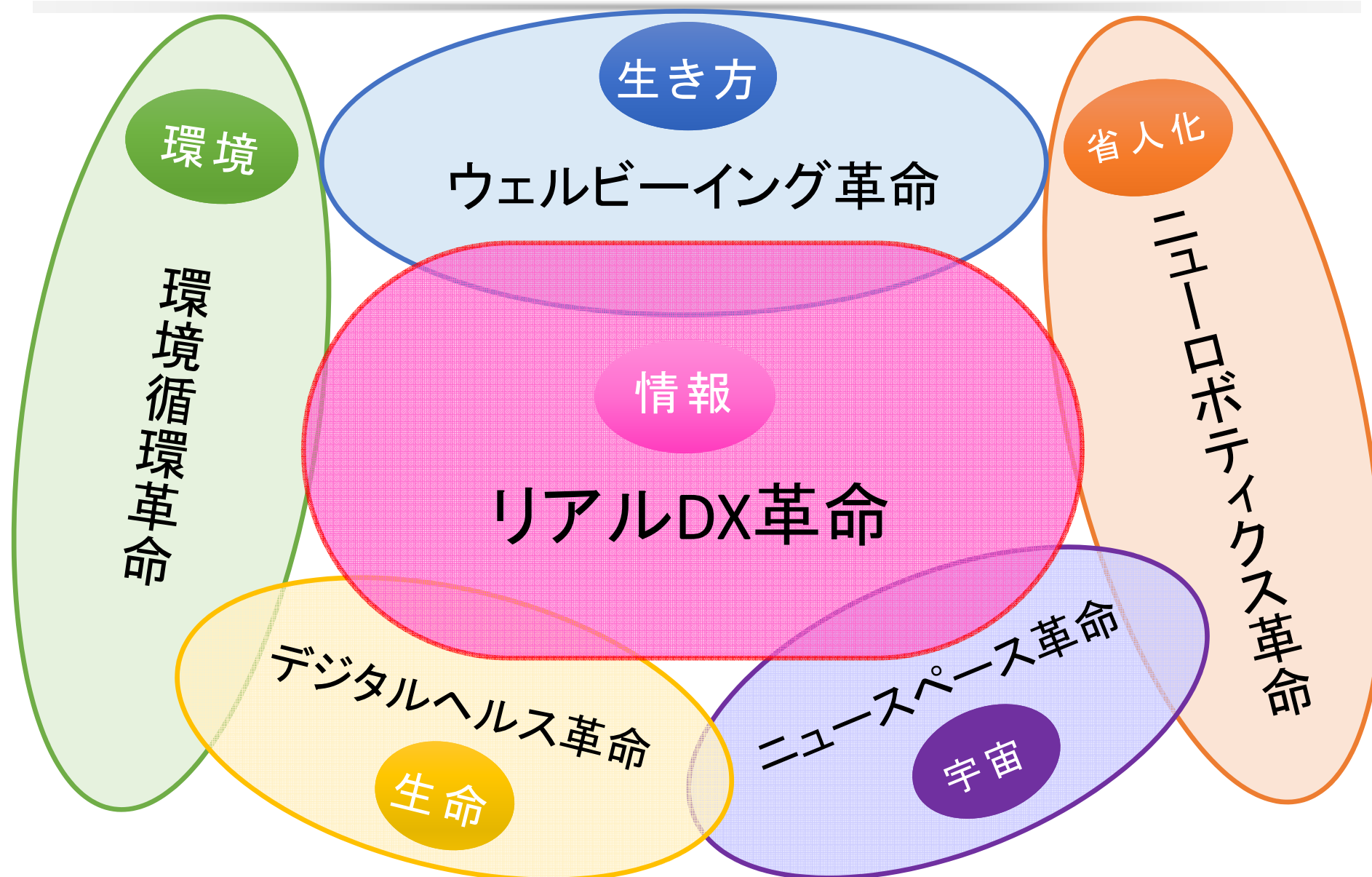
IEベンチャーエコシステムとファンド運営



成長を加速する3,000人近いベンチャーエコシステムの存在



100年に一度の大変革期

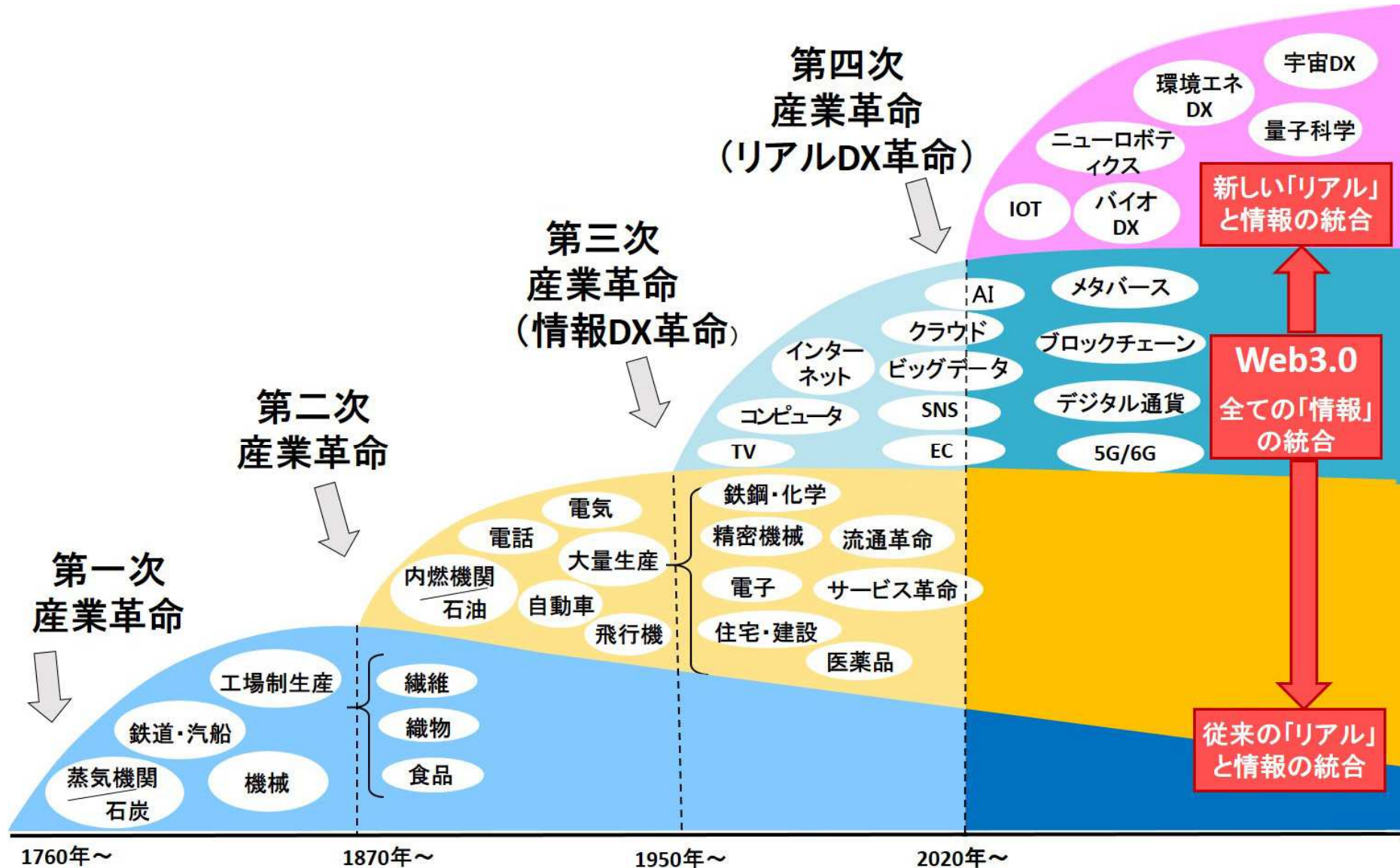


100年に一度の大変革期

	これまでの100年	これからの100年革命
情報	情報DX時代 - 全ての「情報」の統合 - 情報と通信の高度化・融合	リアルDX革命 - 全ての「もの」と情報の統合 - AI、IOT、ロボットの高度化・融合
生き方	人口爆発時代 - 物的充足の重視 - 大量人材投入	ウェルビーイング革命 - クリエイティブエコノミー - 自主性の重視
環境	環境浪費時代 - 使い捨て - 化石燃料	環境循環革命 - サーキュラーエコノミー - 再生エネルギー
省人化	画一量産時代 - 大量生産機械 - 画一的ロボティクス	ニューロボティクス革命 - フィードワークのロボティクス - 協調型ロボティクス
生命	アナログヘルス時代 - アナログのリアル治験 - 対面医療	デジタルヘルス革命 - バイオインフォマティクス - デジタルヘルス
宇宙	オールドスペース時代 - 政府主導開発 - 夢としての存在	ニュースペース革命 - 民間主導開発 - 生活としての存在

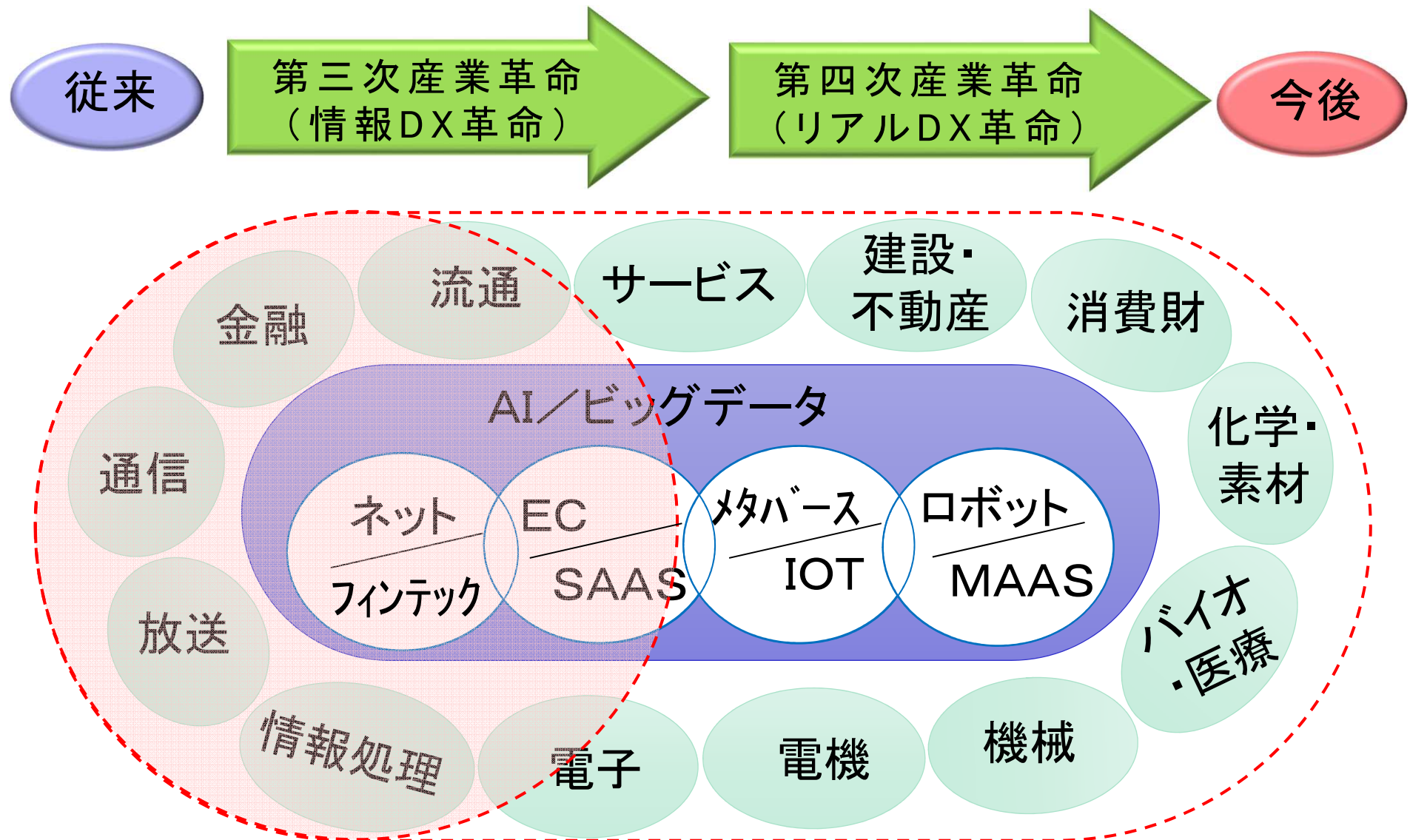
リアルDX革命

リアルDX革命(第四次産業革命)のインパクト

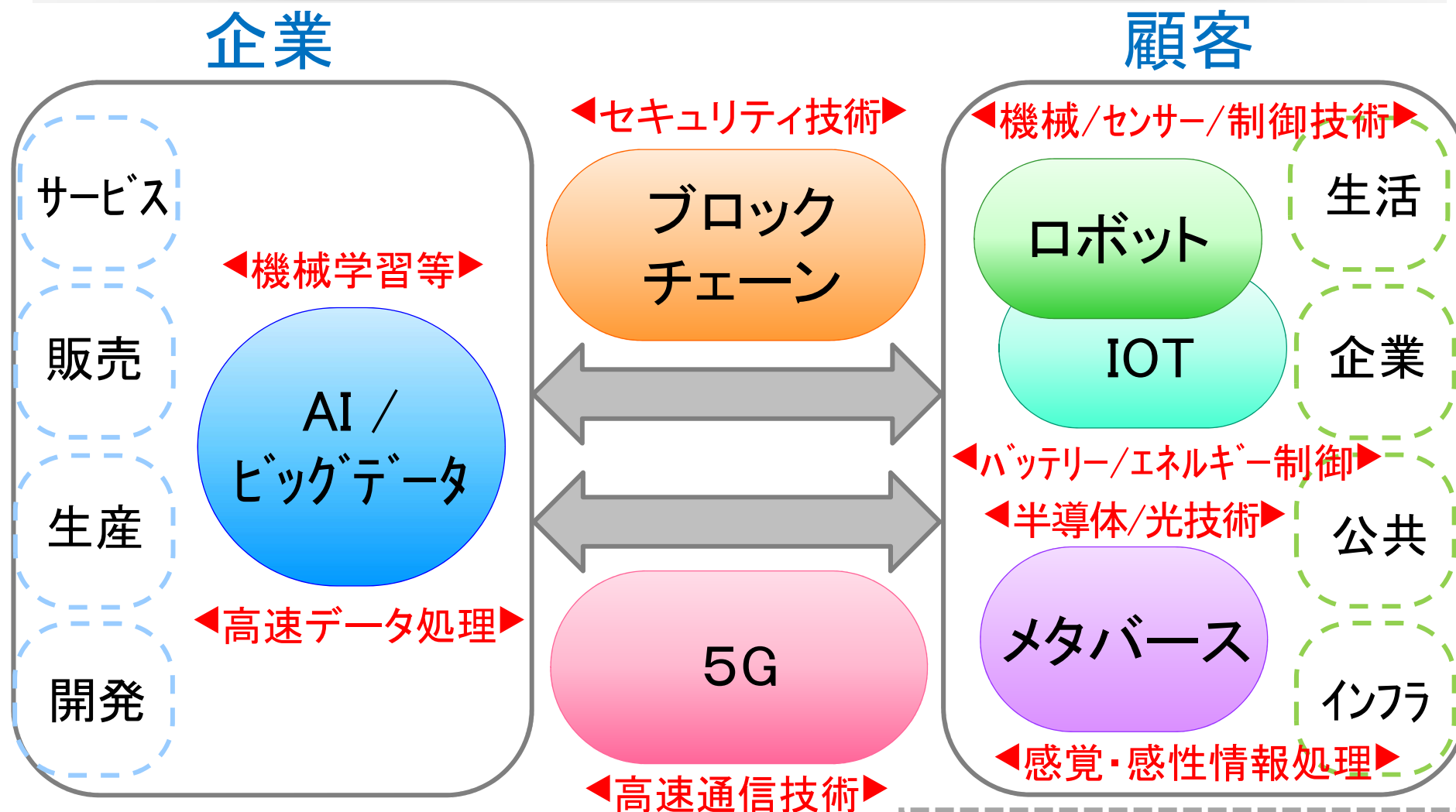


リアルDX革命

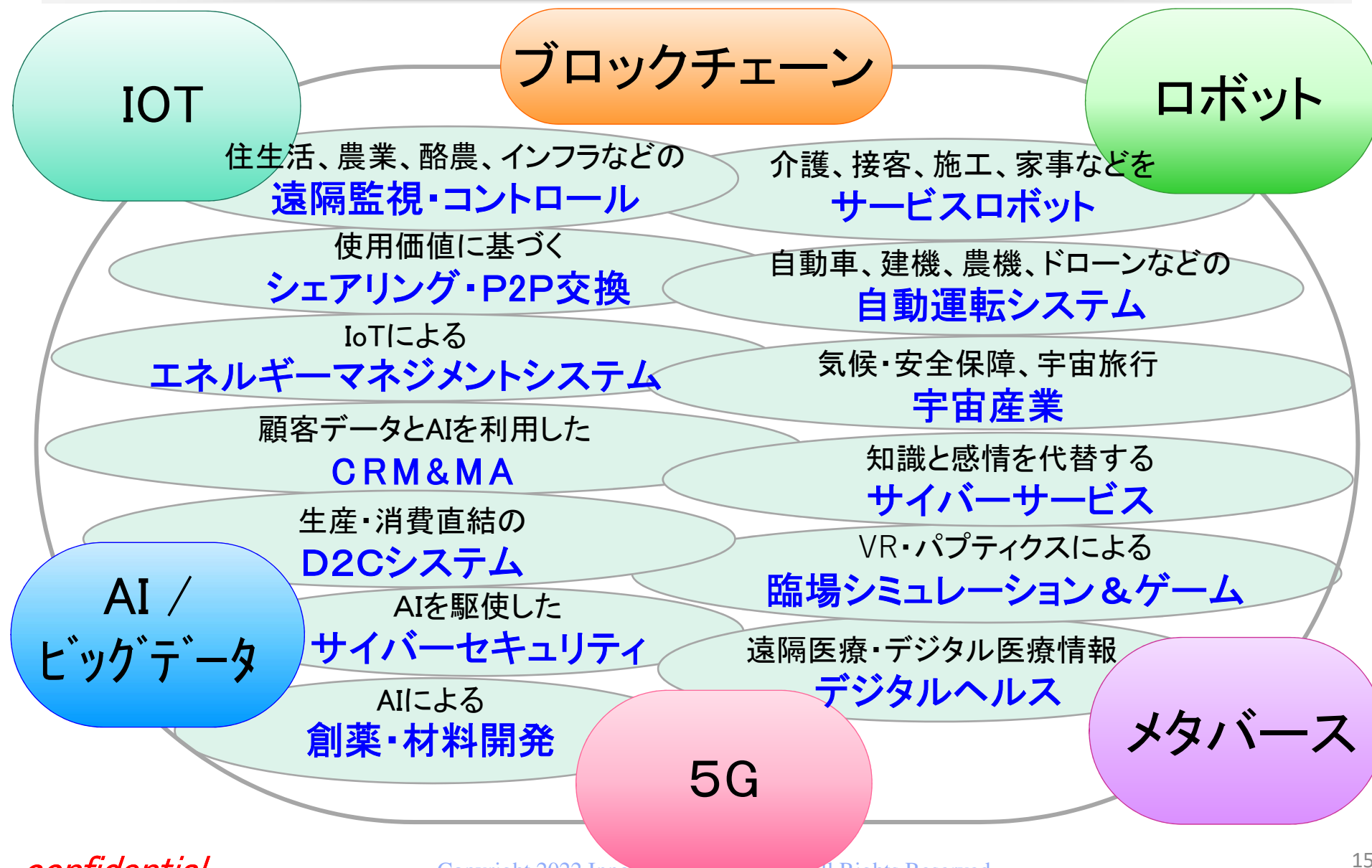
リアルDX革命(第四次産業革命)の広がり



リアルDX革命と事業機会



注)  : 六大成長エンジン
  : 八大基盤技術



◆ SAAS

AI CROSS	☆	SMSによる情報配信、ビジネスチャットサービス	上場済
GRCS	☆	ガバナンス (G) リスク (R) コンプライアンス (C) セキュリティ (S) に関するソリューションサービス	上場済
Zermu Tech	☆	秘密分散により情報安全を実現。政府からの信認も厚い	2023年
ハッチ・ワーク	☆	月極駐車場のマッチングと管理。ENEOSと組んでEV給油システムを開発へ	2023年
bravesoft	☆	イベント運営ツール「eventos」の開発・提供	2023年
NEXT STAGE		住宅の品質を可視化するための「ヒンシツアナリティクス事業」と「ヒンシツ監査事業」を行う	2023年
◆ダイレクトマッチング			
tripla	☆	AIを活用したホテル向け問合せ業界のトップ。各種予約システムも提供	2022年
iYell	☆	住宅ローン・プラットフォーム	2024年

注) ☆:IEの投資先企業、年:上場予定でIEの予想

◆メタバース

メタリアル	☆	AI自動翻訳機のトップ企業。メタバース分野ではデジタルクローンやVR旅行業に進出	上場済
THECOO		ファンクラブを活用してメタバース化やNFT化を検討中	上場済
パロニム		ライブコマースの動画上で予約・注文が可能となるシステム。ニトリ、セゾンなどが採用へ	2024年

◆AI/ビッグデータ

HACARUS	☆	スーパーモデリングによるAI開発で創薬分析や精密部品の外観検査システムで急成長中	2024年
---------	---	--	-------

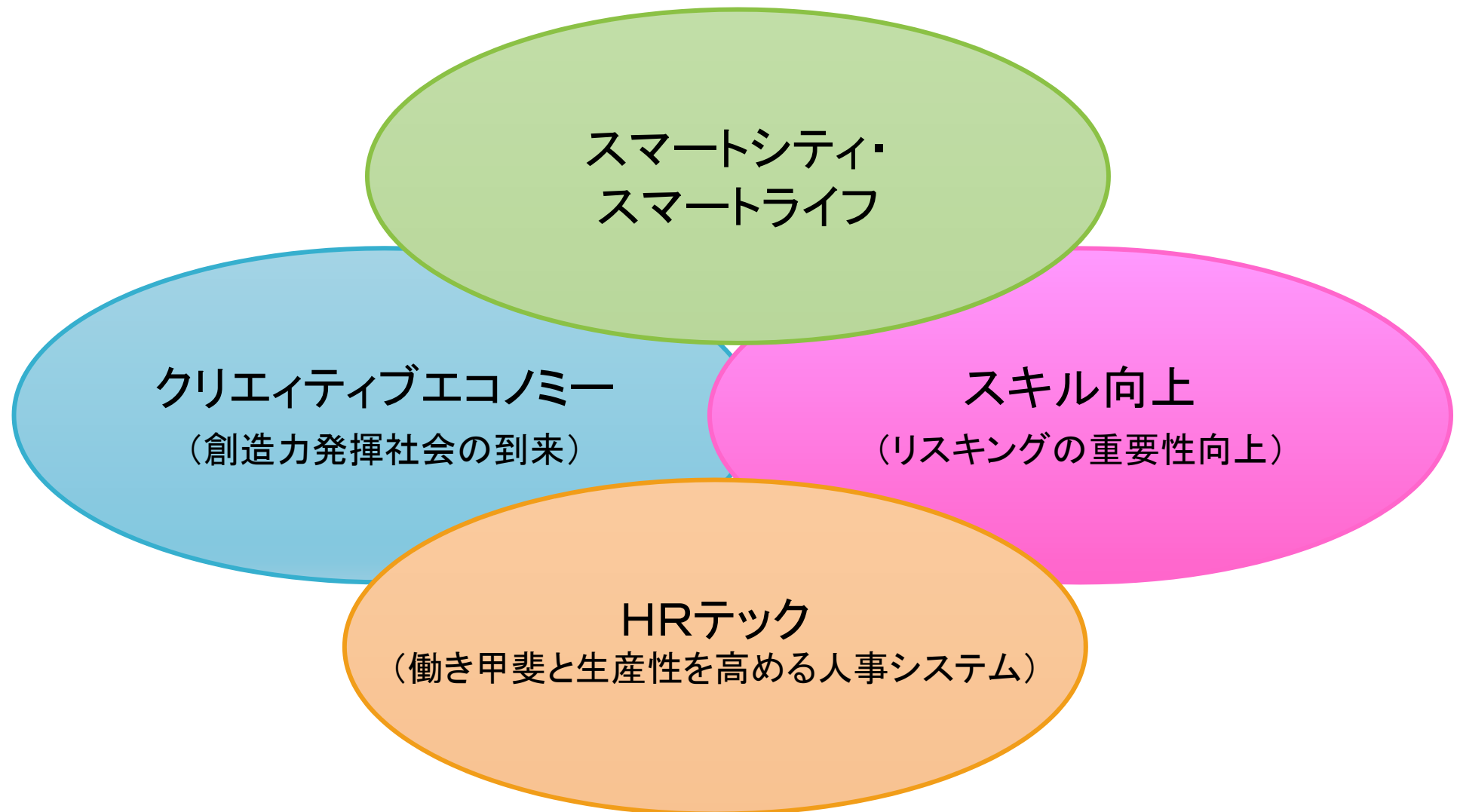
◆IoT/5G

PicoCELA	☆	多段ホップ無線通信システムのリーダー。巨大建築現場や大手小売店など広域無線LANのデファクト	2024年
BONX	☆	ヒアラブルデバイスで多様なグループ通話を実現	2024年
ファームノート	☆	乳牛・肉牛への生体センサーによる管理で酪農事業の生産性を大幅に向上	2025年

注) ☆:IEの投資先企業、年:上場予定でIEの予想

confidential

ー生き甲斐と生産性を高めるライフスタイルー



ウェルビーイング革命

ウェルビーイング革命のリーダー企業



◆スマートシティ&スマートライフ

LiveSmart	☆	生活空間におけるサービスプラットフォーム事業	未定
Near Me		タクシー相乗りマッチング。空港向け強い。	2024年

◆クリエイティブ&エコノミー

トリドリ	☆	マイクロインフルエンサーとユーザー企業のマッチングプラットフォームとしてトップ企業	2022年
17 Live	☆	世界展開するインタラクティブ・ライブ配信大手。台湾と日本では圧倒的トップ企業	2023年

◆スキル向上

データミックス	☆	データサイエンティスト教育のトップ企業。遠隔での試験監視システムのパイオニア	2023年
KIYOラーニング	☆	eラーニング・プラットフォームのトップ企業	上場済

◆働き甲斐と生産性向上

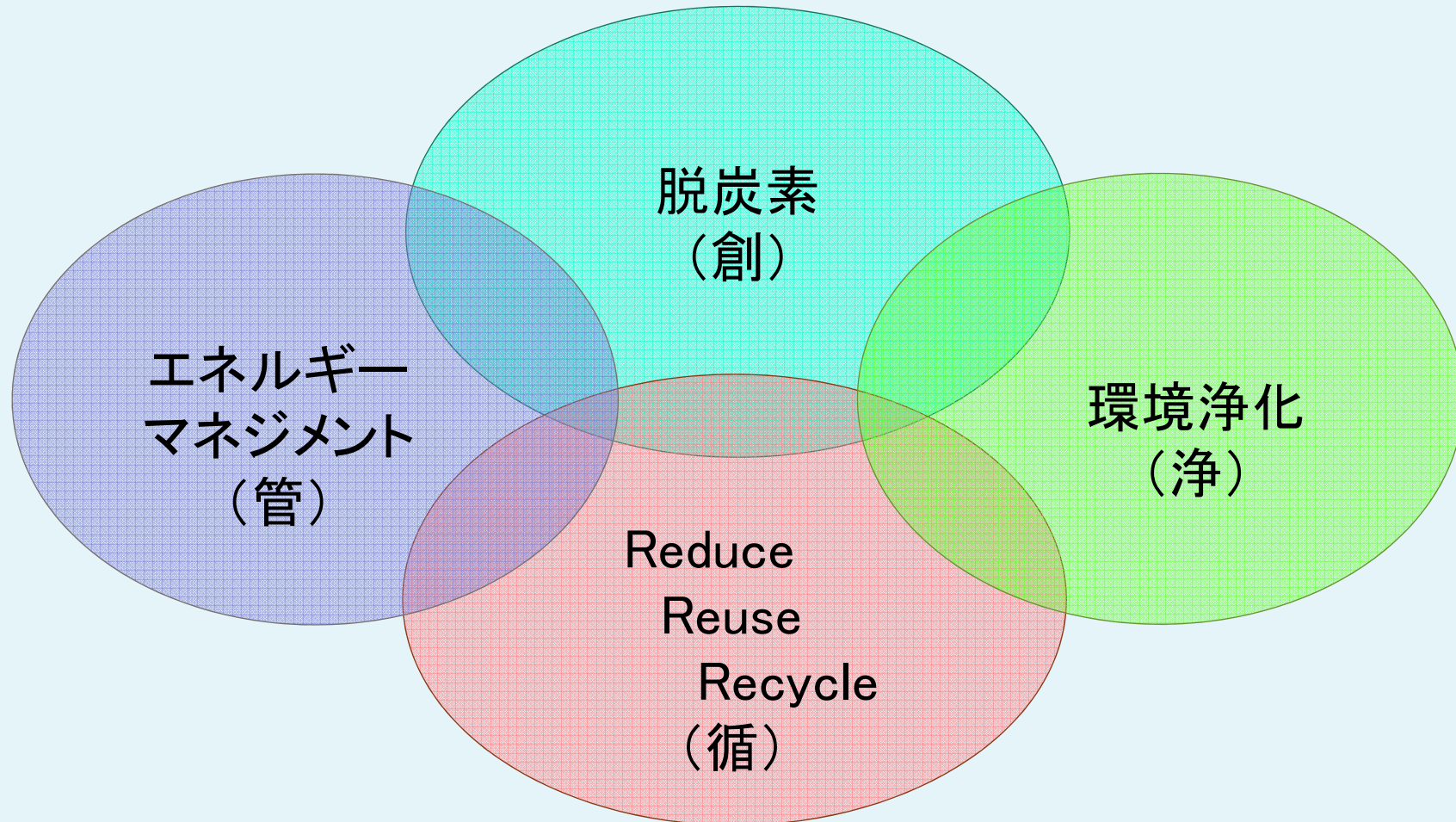
リーディングマーク	☆	上位校向けリクルートでトップ級。適正検査テストの「ミキワメ」で急成長	2024年
KAKEAI	☆	部下視点のOne on Oneミーティングによる人材活性化システムでトップ企業	2025年
ママスクエア	☆	託児機能付ワーキングスペースを全国に展開。大手企業と相次ぎアライアンス	2025年

注) ☆: IEの投資先企業、年: 上場予定でIEの予想

confidential

Copyright 2022 Innovation Engine Inc. All Rights Reserved

— 地球環境を守り持続可能な社会を創る —



注) 3R: Reduce ▪ Reuse ▪ Recycle

◆脱炭素

イーレックス	☆	電力小売でトップグループ。再生エネルギーの発電に加え、エネルギートレーディングも行う	上場済
アイ・グリッド・ソリューションズ	☆	電力のVPPで業界トップクラス。エネルギーマネジメントシステムでも優位	2023年

◆環境浄化

ミライエ		堆肥化を中心としたリサイクル設備のプラントメーカーで、トータルサポートが強み	—
ワイズグローバルビジョン		循環式手洗いユニットなど水製造装置メーカー	—

◆エネルギーマネジメント

インフォメティス	☆	電力の機器分離技術による見える化および需給コントロールのリーダー企業	2024年
----------	---	------------------------------------	-------

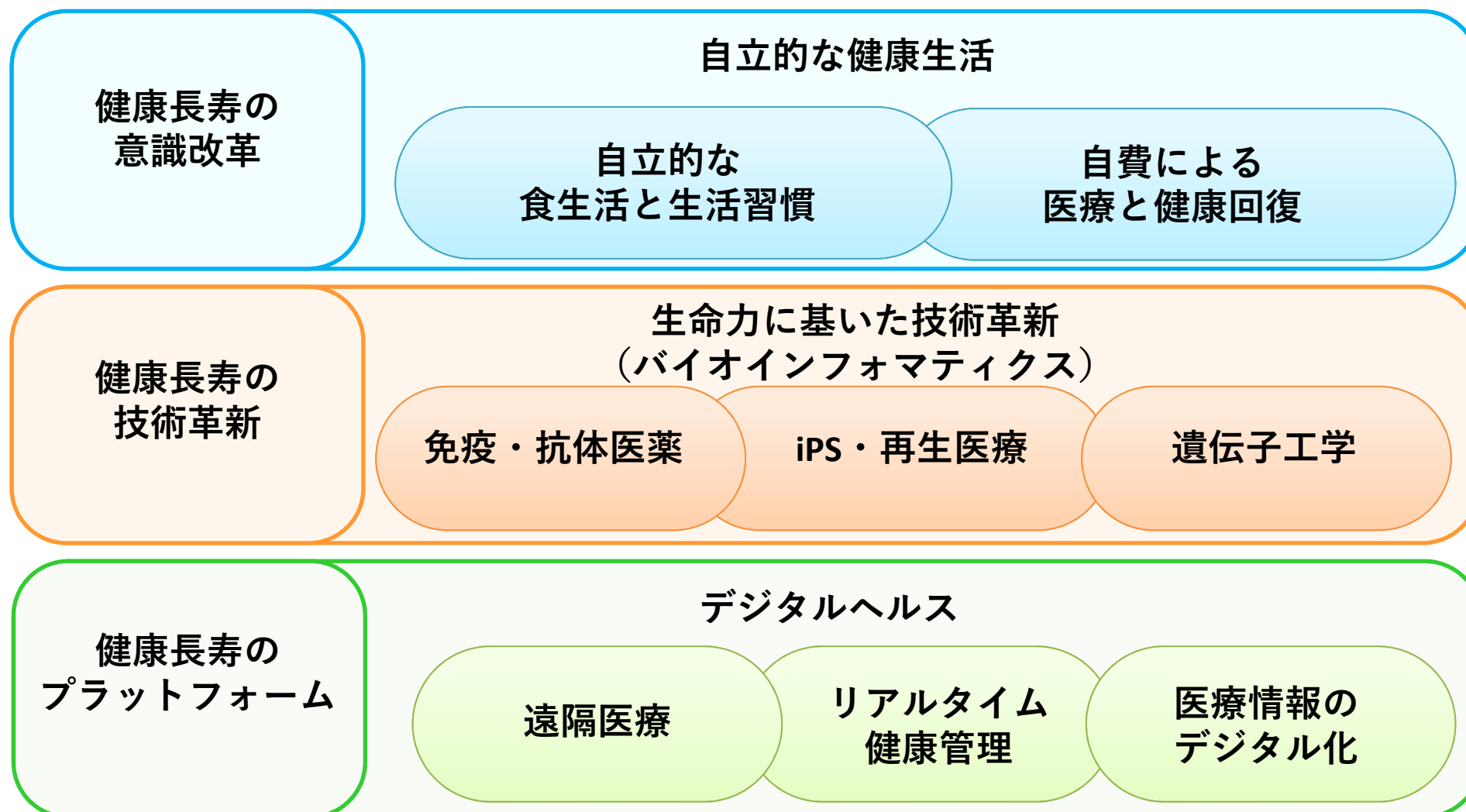
◆サーキュラーエコノミー

ピーステックラボ	☆	P2Pのレンタルシステム。毎月借換可能なシステムの導入で成長力が加速化へ	2025年
----------	---	--------------------------------------	-------

注) ☆: IEの投資先企業、年: 上場予定でIEの予想

デジタルヘルス革命と事業機会

－生命力と情報力を活用－



デジタルヘルス革命

デジタルヘルス革命のリーダー企業



◆ 自立的な健康生活

ロックビル	ニコチン・タールフリーの電子喫煙器具	2023年
-------	--------------------	-------

◆ 免疫・抗体医薬

ブライトパス・バイオ	★ テーラーメイド型ガンワクチン開発	上場済
ペルセウスプロテオミクス	★ 抗体医薬開発で、富士フィルムの関連会社	上場済

◆ 遺伝子工学

リボミック	★ アプタマーの開発	上場済
Veritas In Silico	★ mRNAを標的にしたインフォマティクスのリーダー	2022年

◆ デジタルヘルス

ユーフォリア	★ トップアスリートのコンディション管理でトップ。一般アスリートやフィールドワーカー向けに展開	2025年
ジョリーグッド	各種疾患向けのデジタル治療VR事業のパイオニア	-

注) ★: IEの投資先企業、年: 上場予定でIEの予想

confidential

Copyright 2022 Innovation Engine Inc. All Rights Reserved

画一量産ロボティクス

画一的ロボティクス

工場ワークのロボティクス

モノ対応のロボティクス

人間による運転



個別対応・サービスロボティクス
(生産性向上システムを含む)

協調型ロボティクス

フィールドワークのロボティクス

ヒューマン対応のロボティクス

自動運転ロボティクス

ロボティクス革命

ロボティクス革命のリーダー企業



◆ロボティクス

ZMP	☆	乗用車や物流など自動運転サービスのリーダー企業。各種ロボットの統合管理システムにも進出	2024年
テムザック	☆	介護用・施工用・シティモビリティ用などのサービスロボットのパイオニア	2025年
ユカイ工学		「甘噛みハムハム」などのコミュニケーションロボットのリーダー企業	-

◆ドローン

エアロセンス	☆	建築・土木を中心とした測量目的のドローンの開発・運用でトップクラス	2023年
SKYDRIVE		空飛ぶ自動車のパイオニア。大阪万博でも活躍へ	2024年

◆フィールドワークの生産性向上

FCE Holdings	☆	簡易型RPAの販売でトップ企業。「七つの習慣」による研修システムでもリード	2022年
L is B	☆	建設労働者などフィールドワーカー向けチャットボットのトップ企業。現場作業の生産性向上に寄与	2023年
ダブルフロンティア		ネットスーパーのプラットフォームとして地方スーパーマーケットの宅配システムでリード	2025年

注) ☆: 上の投資先企業、年: 上場予定

confidential

Copyright 2022 Innovation Engine Inc. All Rights Reserved

- 宇宙産業が大きな変貌を見せている。官主導から民主導へ、それも宇宙ベンチャーがその変化をリードしている。
- 半導体やビックデータ革新の影響が大きく、大型品主義から標準の低コストへと激変しており、宇宙が一気に身近なものになってきている。
- 「ながめるだけの宇宙」から「生活空間としての宇宙」へ、まさに宇宙は人間にとっての「ニュースペース」となってくる。

	オールドスペース産業		ニュースペース産業
目 的	科学目的・軍事目的		産業目的で民需も加わる
主 体	政府が 大企業への独占発注	➡	市場原理導入で ベンチャー企業主導
開発手法	大型開発で 高コスト・一品生産		技術革新で 小型・標準化・低コスト化

■ ニュースペース革命

ニュースペース革命のリーダー企業



ispace	☆	月面への資材輸送と資源開発のリーディング企業	2022年
アストロスケール	☆	宇宙デブリの除去システムの世界的リーダー	2023年
QPS研究所		SAR衛星による地球観測で世界4社の一角を占める	2024年
岩谷技研		気球による近宇宙旅行（高度25km程度）	2024年

注）☆：IEの投資先企業、年：上場予定でIEの予想

失敗が続いた2001～2011年

- 50社への投資 ⇒ 2社のIPO
- 日本が強みを持っていた先端製造技術への投資に集中
- ベンチャー企業の顧客は日本の衰退する大手製造業が中心
- プロダクトアウト型でニーズプル型になっていなかった
- 大学の教授などが経営者となるスタートアップ企業への投資
- IEのキャピタリストも大企業の前研究開発部長などの出身者中心

2012年からの大幅な体制革新

- 未来志向の産業創出型VCへの転身
- 従来のキャピタリストを総入れ替え
- これからの時代を拓く企業を探索して投資
- プロダクトアウト型からニーズプル型企业への投資
- 産業創出志向経営者への投資
- IPO可能性の評価に力を入れた

1. それまでは、大手金融会社の子会社だったが、上場のために独立系企業へと変身。その時に、IEは大手金融会社の株式を受入れ取得。
2. 世界の環境問題解決のため、電力のFIT制度が導入された。
3. 大手金融会社出身の経営者から、大手石油会社出身者が実質的経営トップの座についた。
4. 制度改革に乗るだけでなく、原料調達 — 発電 — 電力ディーリング — 電力販売、とトータルな事業システム構築を行った。
5. IPO実現のために、すみやかに管理体制を構築。投資後1年でマザーズ上場、その後1年で東証一部上場へ。

1. 2006年、液晶向け外観検査事業として東証マザーズに上場。
2. その後、程なく、液晶事業のマーケットサイズが急速にダウンし、業績は長期低迷に入る。
3. 東証上場時に、10億円以上の資金調達をしており、それを活用し、半導体パッケージ基盤の外観検査事業のためのR&Dを5年間続けた。
4. 2013年には債務超過、赤字で上場廃止直前にまでいった。IEはその時、半導体パッケージ基盤の外観検査装置の完成間近を確信し、時価総額4億円の時に6.5億円を投資。
5. 資金調達の結果、債務超過解消すると共に業績も急回復し、株価は10倍以上に上昇した。また6.5億円の増資でM&Aをした企業の技術で次世代の新製品開発に成功しつつある。

1. 事業スタートは、レストラン向けチャットボット(問い合わせ)事業で立ち上げ。
2. その後、事業ポテンシャルの限界に気づき、ピボットを行った。チャットボット事業の内容は変えず、事業対象をホテル・旅館向けに転換した。また、AIによる問い合わせ内容への対応力を高めると共に、5カ国語対応も始めた。
3. 当時インバウンドブームが到来し、海外からのメール問い合わせが殺到してきた時期であったので、ニーズが爆発的に増加していた。
4. ただ、多言語対応のAIチャットボット事業のみでは収益ポテンシャルに限界があることが判明した。そこで、ホテル・旅館向け予約システム、決済システムなどを相次ぎ導入し、バーティカルSaaSへと展開を広げていった。
5. コロナ禍においても、日本人観光客対応が比較的底堅く推移して事業成長が続いており、今後のインバウンドが解除されることを考えると期待が高い。